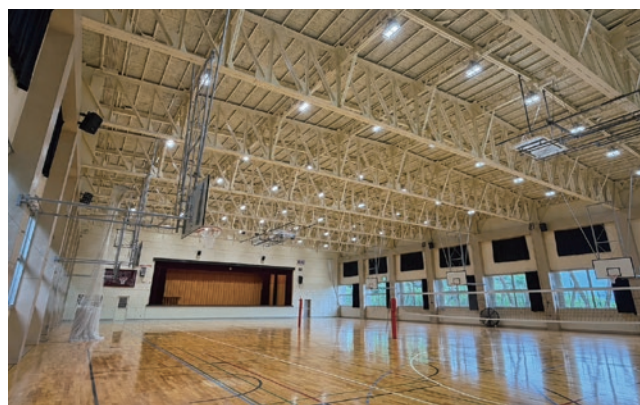


広報さくら

◆◆第122号◆◆ 令和8年7月吉日
発行:日本大学明誠高等学校後援会



主な内容

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| ○ごあいさつ……………会長、校長 …… 2 | ○体育祭…………… 13～16 |
| ○令和8年度部会紹介 …… 3 | ○令和8年度後援会研修会報告 …… 17 |
| ○教職員紹介…………… 4～9 | ○令和8年度後援会活動報告と予定 …… 18 |
| ○球技大会…………… 10～12 | |



令和8年度後援会会長を務めさせていただくことになりました、辻正剛です。

後援会には、1学年・2学年では副会長として携わっていましたが、この度「会長」の大役を

仰せつかり、決意を新たに後援会活動に全力を尽くして参りたいと思っております。至らない点多々ございますが、宜しくお願い申し上げます。

後援会活動は、生徒一人ひとりの高校生活が充実したものとなりますよう、様々なかたちで支える大切な役割を担っていると考えております。校長先生をはじめ教職員の先生方のお力添え、後援会役員・委員の皆様にご協力をいただきながら、楽しく・元気に取り組みを進めて参りたいと思っております。

後援会では、本年度におきましても、

◆ 誠祭におけるバザー及びお茶処の運営

◆ 強歩大会における豚汁調理などによる支援
◆ 卒業謝恩会の開催

の活動に加え、日本大学学部訪問の実施、後援会主催講演会の開催、「広報さくら」の発行などの取組みを行って参ります。

会員の皆様には、是非とも後援会活動にご関心をお持ちいただき、ご支援・ご協力をいただけますと幸いです。

それでは今年1年間、宜しくお願い申し上げます。



左から

添田 水谷 辻 村野 龍野	紳督 織絵 正剛 太郎 洋幸	副会長(第2学年) 顧問 会長 副会長(第3学年) 副会長(第1学年)
---------------------------	----------------------------	---

ごあいさつ

校長 齋藤 善徳



日本大学明誠高等学校後援会の皆様には、ますますご健勝のことと存じます。

平素は、本校の教育活動に格別のご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

松井寛之前校長の定年退職にともない、令和8年4月より校長に就任いたしました齋藤善徳と申します。就任にあたり自己紹介をさせていただきます。

日本大学文理学部体育学科を卒業し、母校の日本大学高等学校・中学校で34年間勤務して本校へ赴任することとなりました。教科は保健体育科で専門種目は剣道でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

学校は生徒の皆さんにとって安心で安全、そして楽しい場でなければならないと考えます。

明誠高校での3年間の充実した学校生活を通じて、生徒皆さんの夢の実現のため精一杯努力してまいります。私が大切にしているものの1つに「不易流行の精神」という言葉があります。古いものを大切にしつつ、新しいものを取り入れる。伝統と革新のバランスを考え、この明誠高校をより良い方向へと発展させていきたいと強く思っております。

日本大学の教育理念は「自主創造」で、その構成要素は「自ら学び、自ら考え、自らの道を切り拓く」となっております。生徒の皆さんには、将来「自主創造」の精神により、充実した自分に誇れる生き方、幸せな人生を歩んでもらいたいと思っております。私たち、教職員一同、生徒の皆さんと寄り添い向き合い丁寧にお育てしてまいります。

後援会の皆様には、今後とも本校の教育活動にご理解ご協力をお願い申し上げます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

後援会部会紹介



総務部

総務部会では、総会をはじめとする後援会行事の準備・運営を行い、活動全体の取りまとめを担当しています。学年や部会を越えたつながりを大切にしながら、役割分担と活動のスマート化を進め、楽しく参加できる後援会づくりを目指します。保護者・学校・生徒の皆さんをつなぐ架け橋となれるよう努めてまいります。



研修部

研修部会では、役員・委員の皆様向けに、日本大学学部訪問研修会と後援会主催講演会を企画・運営しています。

学部訪問では、施設見学や大学の先生方のお話を通して、大学での学びを知ることができます。

講演会では、お子様の成長に役立つテーマを専門家から学ぶ機会を設けています。保護者同士の交流の場にもなりますので、ぜひご参加・ご協力をお願いいたします。



広報部

広報部会では、後援会広報誌「さくら」を年2回発行しています。

学校行事を中心に取材し、暑い日も寒い日も子どもたちの“今”を逃さず撮影し、明誠高校の魅力を丁寧に記録しています。集めた写真や原稿はカヤマ印刷さんとやり取りし、誌面の構成を整えながら仕上げます。高校生活が心に残る誌面となるよう、部員同士が協力し合い、楽しく活動しています。



会計委員 会計監査委員

各学年・各部会は活動費を預かり一年間活動し、年度末に決算書を作成の上、領収書と残金を会計に提出します。

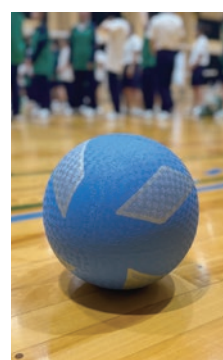
会計は決算書に基づき、活動費が適正に使用されているかを確認します。

会計監査は、会計から提出された決算書と領収書を、後援会銀行口座の預金残高証明書と照らし合わせて問題がないかを確認し、監査報告書に署名捺印します。

定期総会にて会計処理が適正に行われていることを報告します。

















6月20日(土)、後援会役員・委員を対象とした研修会として、日本大学商学部を訪問しました。当日

は、齋藤校長をはじめとする教職員、後援会役員・委員の総勢52名が参加し、学部の特色や教育内容について理解を深める貴重な機会となりました。

商学部キャンパスは、小田急線「祖師ヶ谷大蔵」駅から徒歩約12分の住宅街に位置し、落ち着いた環境の中にありながら、学生が日々学ぶ場として活気を感じられるキャンパスでした。

説明会では、学部の教育理念や学修環境、学生支援についてお聞きしました。商学部では、企業活動やマーケティング、消費者心理などを通して、企業と消費者の視点から社会を捉える点に特色があることが分かりました。

就職支援については、学生の価値観や希望、適性を丁寧に把握し、卒業後のミスマッチを防ぎながら納得のいく進路選択ができるよう支援しているとのことでした。進路相談や面接指導を通して、学生の個性や強みを引き出す姿勢に安心感を覚えました。

資格取得支援についても、学生が前向きに挑戦できる学修環境やサポート体制が紹介され、目標に向

かって努力を継続する力を育てるうえで大きな魅力であると感じました。

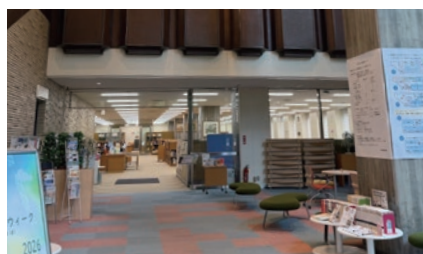
学部説明の後には、キャンパス見学を行いました。校舎は企業のオフィスを思わせる開放的で洗練された空間で、学生同士が自然に交流し、新しい考えを生み出せるような工夫が随所に見られました。

昼食は、学生食堂が休業日のため、大学近くのお店からお弁当を用意しました。食堂の席を利用し参加者同士の懇親を深める時間となりました。

最後に、長谷川学部長よりご挨拶をいただきました。商学部は、企業活動や経済活動を通して社会を豊かにする知識と実践力を身に付ける学部であり、物事を表面的に理解するだけでなく、「なぜそうなるのか」を考える力を育てることが大切であるというお話が、深く心に残りました。

今回の学部訪問を通して、日本大学商学部は専門知識の修得だけでなく、人間性や主体性を育み、社会で活躍できる人材の育成を大切にしている学部であることを実感しました。学生一人ひとりに寄り添う教育姿勢や、多様な支援体制など、多くの魅力を知ることができました。

今年度も無事に研修会を開催できましたこと、商学部の皆様ならびに明誠高校の教職員の皆様に深く感謝申し上げます。また、ご参加いただいた後援会役員・委員の皆様にも心より御礼申し上げます。今後もより充実した企画・運営に努めてまいります。



令和8年

- 5月 後援会定期総会
新旧歓送迎会
第1回役員会
球技大会
- 6月 体育祭
学部訪問 日本大学商学部
- 7月 第1回学年別委員会
日本大学明誠高等学校後援会奨学生授与式
「広報さくら」発行122号
- 9月 祭典パトロール
後援会主催講演会
- 10月 第2回役員会
- 11月 私学のつどい
誠祭バザー・お茶処誠風 準備
誠祭バザー・お茶処誠風 実施

令和9年

- 1月 賀詞交換会
- 2月 アカデミア明誠
■ 強歩大会支援 準備
強歩大会支援 実施
- 3月 卒業式・卒業謝恩会
「広報さくら」発行123号
- 4月 入学式
第3回役員会
- 5月 第4回役員会・定期総会・新旧歓送迎会

◆ 編集後記 ◆

今年の体育祭は、朝まで降り続いた雨に心配しながらのスタートでしたが、無事に開催され、時折小雨が混じる曇り空の下でも、生徒たちは変わらず全力で競技に取り組んでいました。

今年から3年生保護者のみ観覧が可能となり、例年とは少し違った形での体育祭となりました。私たち広報部は、みんなで作った“撮影隊Tシャツ”を着て校庭に立ち、生徒たちの真剣な表情や仲間を応援する姿を撮影できたことがとても嬉しく、胸が熱くなる瞬間が何度もありました。その光景を少しでも多くの方に届けたいという気持ちが、私たちの原動力になっています。

そんな当日の雰囲気や、誌面を通して感じていただけたらうれしいです。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

広報部員一同

